

モンゴル国立大学・名古屋大学レジリエンス共同研究センター  
第3回フシオーフシシンポジウム

# 日本・モンゴル 国際共同研究の展望

## レジリエンスに関して何を解明し 何を学び合うべきか

[基調講演] (10:40~)

- (1) 城所卓雄(名古屋大学特任教授、前モンゴル駐在日本国特命全権大使、モンゴル国立大学顧問)  
「モンゴル国の現状と日本・モンゴル両国関係のあり方」  
(2) スフバートル(モンゴル国立民族歴史博物館館長)  
「モンゴルにおける博物館の歴史的変遷と今後の役割」(逐次通訳あり)

[レジリエンスに関する文理連携・学際研究を目指して] (13:00~)

開会挨拶: 林 良嗣(名古屋大学環境学研究科共発展センター長)  
講演者: バトルガ(モンゴル国立大学)、稲村哲也(放送大学)  
大路樹生・甲斐憲次・篠田雅人・鈴木康弘(名古屋大学)

[討論とまとめ] 今後の共同研究の方向性—レジリエンスに関して何を解明し何を学び合うべきか—

日時: 2015年11月20日(金) 10:30~15:45

場所: 環境総合館1階レクチャーホール

使用言語: 日本語 (モンゴル語講演の際は日本語通訳あり)

問い合わせ先: 鈴木 (ysz@nagoya-u.jp)